

国保税1万円の値下げを!!



国民健康保険税について 石川 栄子議員



健康保険課

議員 国民健康保険税について、今年度賦課方式が変わり、資産割がなくなると、土地家屋を持つていない人は値下げになるが、持っている人は大体値上げになる。国保世帯1万2343世帯のうち70・6%が所得200万円以下の世帯である。4月から消費税増税で、暮らしはますます大変になった。「国保税は高くて困る」という皆さんの声がある。暮らしが大変な時こそ貯金を下ろして暮らしの足しにす

べきである。常総市には財政調整基金が35億円もあるのだから、国保税の1世帯1万円の値下げを求めるがどうか。

保健福祉部長

国民健康保険は療養給付費に要する費用の50%を国と県が負担し、残りの50%を被保険者の皆さんに負担してもらい、不足分を一般会計から繰り入れていくのが現状である。常総市は県内でも繰り入れ金額が多い状況であり、値下げは厳しい。

議員

会計で処理するのではなく、補填する形で助成するという方法はどうなのか。

保健福祉部長

制度上の問題があるので、一定の補填をして値下げをするのは現実には難しい。

議員

国民健康保険法で医療費の窓口負担の減免が規定されているが、低所得者や急に体調を崩して働けなくなった方も減免の対象にし、医療費の一部負担金の減免を求める。

保健福祉部長

24年に一部負担金の要綱を整備した。要綱に従って運用していきたい。



常総市の認知度について 遠藤 正信議員

地域を挙げてPRしよう!!

議員

常総市のイメージアップに努め、定住人口の増加や企業誘致を図っていかねければならない。茨城県は47都道府県の魅力度ランキングで最下位であるが、常総市のイメージアップに向けた取り組みの実態を伺いたい。

企画部長

24年度に都市ブランド戦略準備委員会を立ち上げ、セミナーを開催した。アンケート調査では、認知度が低く、より効果的な情報発信が必要であることがわかった。認知度アップのためには、市民・企業・行政等の連携が必要である。協力・発信体制構築のため、人材確保、情報発信ツールの活用など、積極的に取り組んでいきたい。

議員

千姫まつり、花火大会などの実績効果とめぐり来る催しの向上対策について伺いたい。

産業労働部長

来場者数は、千姫まつりは本年度約1万5000人、花火大会は過去5年間11万人で横ばい。

議員

一番いいPRというのは、信頼ある人の話である。いろいろなものを連動して教えてあげるのが大事ではないか。

産業労働部次長

PRのため観光物産協会のホームページを大きく変え、更新中である。また、他市町村と連携をとるよう進めている。

議員

マニアは全国どこへでも行く。もう一度常総市を見つめ直せば、たくさん集客するベースがあるのではないかと考える。

都道府県魅力度ランキング

順位	都道府県名	点数
1	北海道	65.3
2	京都府	49.1
3	沖縄県	44.3
⋮	⋮	⋮
45	埼玉県	8.6
46	佐賀県	7.0
47	茨城県	6.6

「地域ブランド調査2013」より